

# 理学療法士募集案内

## YONEDA HOSPITAL

YONEDA

# YONEDA HOSPITAL YONEDA CLINIC

## はじめに

当院は整形外科単科病院・診療所として、一般的な整形外科疾患の他、スポーツによるケガ、手の外科、人工関節手術や関節リウマチの治療も得意としています。

平成27年秋に耐震建替工事が完了し、外来・入院病室も充実した環境となりました。

患者さん本位の医療を提供するため、医師・看護師・薬剤師・放射線技師・リハビリスタッフ・その他関係職種とともにチーム医療を推進しています。

専門職の経験を積みながら、チームYONEDAの一員として一緒に働きましょう！

## 経営理念

患者さん中心の医療を目指す

1. 高水準で安全な運動器医療の提供
2. 各医療職種の人材の持ち味を生かす
3. 地域医療連携

## YONEDAグループ 5つの目標

1. 双方向コミュニケーション
2. 標準化
3. 全体最適
4. 透明性
5. 継続性



## リハビリテーション科のご紹介

外来部門では、午前中は高齢者を中心に骨折、脱臼などの急性期外傷後や変形性関節症などの疾患のリハビリを行っており、午後は学生、スポーツ競技者などを中心に前十字靭帯損傷(術前後)や投球障害などスポーツ障害に対するリハビリテーションを行っています。また、入院部門では、手術後の患者さんを中心に早期社会復帰のための積極的なリハビリテーションを行っています。

柔道整復師も多く勤務しており、お互いに切磋琢磨して良い環境のリハビリテーション科を作り上げることを目的に、定期的な勉強会を開催し、学会発表などにも積極的な支援を行っています。また、当院は日本相撲協会の指定病院となっており、希望者は大相撲名古屋場所の救護活動にも参加しています。

当院は大変多くの患者さんが来院されるため常に忙しい環境です。

ゆったりとした環境で業務を行いたいと考えている方には不向きである職場だと思います。

しかし自分の持っている能力(知識、技術、接遇)を発揮して患者さんに喜んでいただき笑顔が見たい、また多くの仲間(他職種も含め)とコミュニケーションをとりチームの一員として働きたい、そして多くの症例を経験することで自分自身が成長したいと思っている方には、大変適した職場であると確信しています。



---

## リハビリテーション科の目標

1. 各職種との良好なコミュニケーションを通して業務の質を確保する。
2. 高水準で安全な保存療法・運動療法を提供する。
3. 職員が気持ちよく働き、互いに成長し続けることのできる職場を目指す。

# YONEDAの取り組み

## 電子カルテ

電子カルテは保存性・真正性・見読性に優れ、毎日の業務を円滑に行うことができます。

当院では患者さんの個人情報や診療内容を全て電子カルテで管理しています。

## チーム医療

医師、薬剤師、看護師、柔道整復師など、他職種とのコミュニケーションが非常に活発です。

チーム医療の一員として、広い視野で患者さんを支えることができますようになります。

## CSとESの向上

CS(顧客満足度)とおなじように、ES(従業員満足度)の向上が大切だと、当院の経営者は考えています。

ESに対する主な取り組みとして、職員食堂の充実、資格手当などの他、残業時間をできるだけ減らし、有給休暇や育児休暇などを積極的にとることを奨励しています。また、ハラスメントとみなされる行為が黙認されないよう、コンプライアンスについても整備を進めています。

## リハビリテーション科のPOINT

### POINT 1

### 万全の患者さんサポート体制！

入院リハビリを行う病院、通院リハビリを行うクリニックの両施設の連携により、「入院前リハビリ・診察→入院中のリハビリ→退院後リハビリ・診察」の一連の流れに対するフォロー体制も整備しています。

### POINT 2

### アスレティックリハビリテーションの実施！

広々としたリハビリ室には運動スペースが確保されており、スポーツ復帰に向けたリハビリを積極的に行っています。慢性疾患の患者さんだけでなく部活を行っている学生さんのリハビリも多く、膝ACL損傷、半月板損傷、野球肩などのスポーツ障害のリハビリを経験することができます。

### POINT 3

### 手術見学ができる！

当院では、骨接合手術のほか、膝ACL靱帯の再建術や膝・股関節の人工関節置換術、手指の腱縫合など様々な手術を行っています。年間400件ほどの手術は、専門性の高い技術を誇る経験豊富な常勤医師らにより、整形外科専用手術室(3室)で行われます。他院ではなかなか見ることが出来ないような高度な手術も、当院では見学することができます。手術を見学をすることで、患部の状態をより深く把握できるだけでなく、手術見学で得た知識をリハビリに役立てることができます。

**POINT 4**

## 院内勉強会・院外発表のバックアップ！

昼の休憩時間などを使い、先輩や後輩とリハビリの練習や相談ができるだけでなく、医師も参加する院内勉強会で高い評価を得た内容については、学会発表も全面的に支援されます。

**POINT 5**

## 充実した医療機器！

超音波画像診断装置・筋電図・等速性筋力測定装置 (CYBEX) などの医療検査機器が充実しており、それらを使用し知識を深めることができます。動作解析設備も備えており、投球や歩行などの研究も可能です。

**POINT 6**

## 米田柔整専門学校の図書室が利用できる！

YONEDAグループの米田柔整専門学校にある図書室「メディアセンター」が利用できます。メディアセンターには、専門書や歴史的な書物から新刊雑誌まで、豊富な蔵書がそろっています。解剖などのビデオやDVDもあり、メディアセンター内で観ることができます。

**POINT 7**

## 大相撲名古屋場所で力士の救護活動ができる！

毎年7月に行われる名古屋場所中は、リハビリテーション科より1日2名が8:30~18:00まで支度部屋の一角で待機しています。取り組み前のテーピングや、取り組み後の外傷処置などを行っており、多いときには40名以上にテーピングを施行することもあります。

**POINT 8**

## 仕事とプライベートの両立を応援！

YONEDAでは有給休暇の取得を奨励しており、リハビリテーション科においてもリハビリ予約制を生かし休養やリフレッシュをしっかりとできるような体制を整えています。有給休暇の取得は、健康だけでなく職場の安全にもつながっています。

**POINT 9**

## レクリエーションでコミュニケーションを促進！

3ヶ月に1回ほどの頻度で、体育館やグラウンドを借りてフットサル・野球などのレクリエーションを開催しています。



## 入職前研修

4月1日入職の場合、3月末の3~5日間を使って行います。  
施設の見学、接遇・マナーの習得、電子カルテの使用方法などを学びます。  
入職者全員が参加するため、入職前の不安も解消することが出来ます。

## 指導体制

「入職から半年後に自立して業務を行えるようになること」を目標としています。  
自立した後も、もちろん、アドバイスやフォローは継続していきます。  
各疾患のリハビリについては、教育係以外にも複数名の先輩がフォローにあたるため、多角的視野を養うことが出来ます。  
※教育体制は年度毎に検証、実施をくり返しています。



4月 社会的基礎ルール、事務的業務、施設基準の理解

4~5月 トラブル事例の把握、一般整形疾患概論・評価、ADL指導の習得

- POINT!**
- 先輩のリハビリを見学したり、教育係の指導を受けながら自立を目指します。
  - まずは一般整形疾患（腰痛・肩関節周囲炎・変形性膝関節症など）から学びます。
  - 習熟度を確認するため、適宜テストを行います。



5月 宿直開始（1~2回/2ヶ月）

5~6月 自立度判断

6. 9. 12月 症例発表会



## フォロー体制

教育係とともに業務手順の確認・評価を行いながら、無理なく進めていく体制をとっています。一方的に進むのではなく、個々の技量にあわせて進めていきます。

# 1日の流れ

## [ 病院勤務 ]

- 8:30 — 業務開始  
朝礼 準備 カルテチェック
- 8:50 — 午前リハビリ開始
- 12:00 — 休憩 昼食 会議 勉強会 等
- 13:30 — 午後リハビリ開始
- 17:30 — 午後リハビリ終了
- 17:40 — 会議 カルテ記載
- 18:00 — 業務終了



## [ クリニック勤務 ]

- 8:30 — 業務開始  
朝礼 準備 カルテチェック
- 9:00 — 午前リハビリ開始
- 12:30 — 休憩 昼食 会議 勉強会 等
- 15:00 — 午後リハビリ開始
- 19:20 — 午後リハビリ終了  
片付け カルテ記載
- 19:30 — 業務終了





よねだクリニック所属

高橋 知希

[平成25年4月 入職]

当法人の特徴は、入院・外来診療の中核となる「米田病院」と通院リハビリ施設である「よねだクリニック」からなり、急性期から慢性期の患者さんと関わる事ができることです。

「米田病院」は手術件数も多く、リスク管理や病期に即した理学療法を学ぶことができます。また、患者さんがスムーズに日常生活に復帰できる様、日常生活動作指導や補助具や装具療法も経験することができます。

私は現在、入院施設である「米田病院」に勤務しています。米田病院では、手術後の患者さんをはじめ、地域の急性期病院からの転院患者さんも多く入院されています。そのため、当院では特にチーム医療を重視しています。質の高いリハビリを提供できるよう、他部署への勉強会や看護科とのカンファレンスを行い、患者さんが日常生活に不安なく復帰できるよう、スタッフ一丸となって退院支援を行っております。

また、以前勤務していた「よねだクリニック」では、入院リハビリと異なり、多種多様の症状を持つ患者さんと関わる事ができます。限られた治療時間で病態を評価し把握することは、プレッシャーを感じる反面、日々の臨床を大切に、臨床で得た疑問点を少しずつ勉強することで、着実にレベルアップ出来る環境であると感じております。

臨床外では「変形性膝関節症班」に所属しており、文献抄読や患者さんへの病態説明用のパンフレットの作成などを行っています。医師や放射線技師の方々と意見交換を行うことで、より専門的な知識を深めることができると実感しています。 ※詳しくは下記参照。

このように、当法人では、社会人として成長出来る環境と、運動療法のプロフェッショナルとして成長するために必要な環境がそろっていると感じております。

当院では、医師・リハビリテーション科・放射線科の有志が集まり、「アキレス腱断裂」「成長期腰椎分離症」「膝前十字靭帯損傷」「変形性膝関節症」を中心に毎週朝（診療前の8:00～8:30）に勉強会を行っています。

医師が主体となる全国的な学会などで、リハビリテーション科スタッフが発表することもあります。

もちろん学会発表のためだけに勉強会を行っているのではなく、勉強会や学会参加を通して学問的な考え方を体感し、知識を増やし、個人・病院全体の質の向上に繋げていくことを目的に、日々研鑽しています。



# 施設案内

310㎡の広々としたリハビリ室(クリニック1F)



アスリハも可能なリハビリ室(クリニック2F)



280㎡の広々としたリハビリ室(病院)



リハビリ室(病院)に直結した屋外テラス



MRI(2機)をはじめとする様々な検査機器



患者さんにもスタッフにも優しい  
ワンフロアの整形外科病棟(54床)



整形外科に特化した手術室(3室)



YONEDAグループの米田柔整専門学校で  
最新の各種医療雑誌や書籍の閲覧が可能



# 募集要項

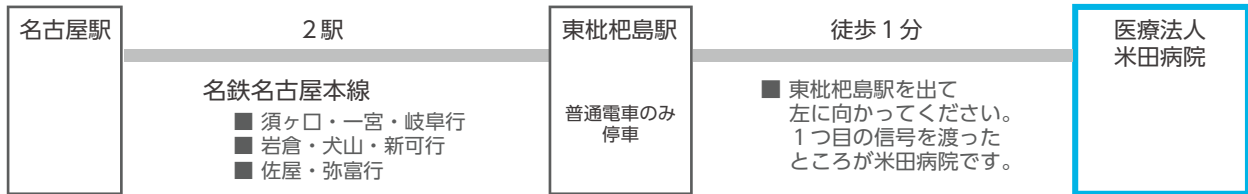
職種	理学療法士	
勤務地	米田病院 よねだクリニック	
勤務時間	週40時間	
勤務体制 ※基本シフト	米田病院	AM 8:30～12:00 PM 13:30～18:00 (休憩1.5時間) *土曜日午前出勤の場合は、平日半日休みあり(シフト制) *土曜日一日出勤の場合は、平日一日休みあり(シフト制)
	よねだクリニック	AM 8:30～12:30 PM 15:00～19:30 (休憩2.5時間) *木曜日・土曜日は午前のみ *時間超過分は、他日休みを取得(シフト制)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2ヶ月に一度、宿直業務があります。</li> <li>・理学療法士の平均残業時間は1ヶ月あたり1時間程度です。</li> <li>・病院、クリニック間の異動があります。</li> </ul>	
休暇	<p>年次有給休暇 : 初年度10日付与 ※当院は、有給休暇の取得を奨励しています。 ※年間10日以上有給休暇を取得している職員の割合: 53%</p> <p>盆休み : 8月15日, 12月29日～1月3日 夏期休暇 : 7月～9月の間で2日間 その他 : 慶弔休暇など</p>	
給与	<p>昇給 : 年1回 4月 賞与 : 年2回 7月・12月 (昨年度実績: 4ヶ月程度) ※初年度支給額は当院規定による。</p>	
病院見学 エントリー	<p>随時募集中 ※個別で日程などを調節させていただきます。</p>	
福利厚生	<p>院内保育所あり 女性寮あり</p>	
問い合わせ	<p>住所 : 〒451-0053 名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号 電話 : 052-521-6406 Mail : info@yonedan.or.jp 担当 : 医療法人 米田病院 総務課 加藤 朱雄(カトウ アケオ)</p>	

# アクセス

住所 : 〒451-0053 名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号  
電話 : 052-521-6406

## ■ 公共交通機関でお越しの方

名鉄本線東枇杷島駅徒歩1分、名古屋駅からアクセス◎



## ■ お車でお越しの方

